

令和6年度のスタートです！



金生第一小学校長 神野 茂

令和6年度が始まりました。入学式で新入生35名を迎え、全校児童238名、教職員31名で今年度のスタートを切ることができました。新型コロナウイルス感染症が第五類に移行後、初めての新年度のスタートとなりました。今後は、他の感染症も含め基本的な感染対策を講じながら、学校の教育活動やPTA活動、コミュニティ・スクールの活動を推進してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。
今回は、始業式の式辞を紹介させていただきます。

～(前略)～

校長先生から2つのこととお話します。

1つ目は、「いのち」の大切さです。みなさんの命はたった一つしかありません。自分の命も友達の命も、そして先生たちの命も大切にしてほしいのです。相手が悲しくなることを言ったり、嫌がることをしたりするのは絶対にやめてください。うれしくなったり、楽しくなったりする言葉掛けや行動のとれる人になってください。アメリカ大リーグ・ドジャースの大谷選手も目標達成シートに次のように書き入れていました。「人としての思いやり・礼儀を大切にして信頼される人間になる。友達を思いやる心、周りの雰囲気流されない強い気持ちを持つ」と決めて、頑張っあんなすごい選手になったのだそうです。

2つ目は、「やさしさ」についてです。人間が本当に大切にしなければならないことは、やさしさだと校長先生は考えています。自分が困っているときや悲しんでいるときに、やさしく声を掛けてくれたり、一緒に考えてくれたりした経験は、みなさんにもあるはずで。これから学校生活を送っていく中で、周りにいる人に対して、やさしく接することのできる、本当に強い人間になってください。そうすることで、これからの学校生活をより良くしていくことにつながると思っています。

以上、2つのこととお話しましたが、金生第一小学校をより良い学校にしていくために、校長先生から先生たちにも宿題を出します。どんな宿題かというと、やさしくて、きびしくて、おもしろい先生になってくださいということです。先生方、よろしくお願いします。そして、やはり5年生、6年生のみなさんです。5・6年生が良いお手本を示してくれると、学校全体がいい方向に進んでいきます。よろしくお願いします。2・3・4年生のみなさんも、1年生のお手本になれるように、「いのち」と「やさしさ」について、考えていってください。

～(後略)～

令和6年度も教職員一丸となって、教育目標『気づき、考え、進んで行動する金一っ子を育てる』の下、「一人一人のいのちが輝く楽しい学校」「やさしさあふれる学校」を目指しますので、金生第一小学校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。